

よりなる日中友好交流の推進にむけて！

神奈川県日中友好協会訪中団

団長 田中 誉士夫 (名誉顧問)

当協会は2015年11月9日から14日にかけて、高校生3名を含む11名の訪中団を福建省と遼寧省に派遣しましたが、訪問団の団長として、訪問の感想や成果などについて述べてみたいと思います。

まず、3名の高校生を含めて11名全員が、予定された多忙なスケジュールをこなして、事故もなく無事帰国できたことを嬉しく思っています。温かい福建省から寒い遼寧省への移動でもありませんでしたので、体調を崩さないかと心配もしておりました。

中国訪問を振り返って

訪問団は、福建省並びに遼寧省人民政府、中国人民政府政治協商会議遼寧省委員会及び遼寧省中日友好協会等の要人にお会いでき、当協会のこれまでの



東北育才外国語学校にて田中団長挨拶

取り組みを評価していただくとともに、熱烈な歓迎を受け、緊密な連携の下に日中友好のさらなる進展を誓い合うことができました。また、在瀋陽日本国総領事館を訪問し、大澤勉総領事から最近の中国の状況をお聞き出来たことも有意義でした。中国ではPM2.5問題に対する環境技術や、まもなくやって来る高齢化社会での医療・介護のノウハウに、日本への期待が高まっています。さらに、3名の高校生も

立派に親善大使としてその使命を果たしてくれました。特に瀋陽市内の東北育才外国語学校における高校生交流は、見ている私も楽しくなりました。同年代の若者同士が触れ合い、語り合うことによりお互いを理解することは素晴らしいことだと思います。

私はこうした光景を目の当たりにして、この若者たちが将来にわたって日中両国の懸け橋となってくれることを確信いたしました。日中両国のトップが二度



県立神奈川総合高校

2年

立石 円香さん

の首脳会談により、日中両国の関係改善の機運は高まりつつありますが、まだまだ円滑な関係になっておりません。こうした状況だからこそ、日中友好の促進には、地域や民間レベルでの地道な交流が大切であり、今回の訪問団の派遣はこうした考えの下で行われたものであり、訪問団の団長として参画できたことを光榮に感じております。この場をお借りして関係の皆様へ感謝申し上げます。

私は中国で大きな発見と小さな発見をしました。大きな発見は、中国には日中関係を良くしたいと考えている人が多くいるということです。今回の訪問で多くの色々な方と出会ってよく感じました。特に、5日目の東北育才外国語学校での高

校生との交流では、大人だけでなく若い世代も日本に興味を持っていて、中国に興味を持っていました。ただ、日本には海外に興味がある学生は多くても、ヨーロッパやアメリカなどの方に興味がある人が多いので、中国の良さをもっと広めていく事

が今後の課題だと思えます。小さな発見は、日本製の車や服(例:UNIQLO)など日本の物が中国でも親しまれている事です。小さな事だけど、身近なものから日本の良さが伝わっていいなと思います。

私は今回の訪問を通して感じた事や自分が今後どうしていきたいのかを身近な所から広めて、少しでも興味を持ってくれる人を増やしたいです。他にも中国に行った人はそこで経験した事を周りに広めるという事を繰り返していけばその輪が大きくなっていくと思います。また中国に行きたいです。



在瀋陽日本国総領事館にて